

平成 22 年度事業計画書

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会は、スリランカと日本両国の相互理解を促すこと、スリランカ人の抱える問題の改善・解決を図ることを目的に、下記の事業を実施します。具体的には、本法人の定款第 5 条第 1 項の事業として、スリランカよろず相談窓口事業、スリランカ人を対象とした教育振興、人材育成及び雇用促進事業、日本語・日本文化普及、教育・技術指導等に係るボランティア支援推進事業、スリランカの物産の紹介と普及事業を実施し、さらに目的にある相互理解の促進事業として、スリランカ・日本「架け橋」事業を展開する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

<ア> スリランカよろず相談窓口事業

(ア) 事業内容

会員及びその関係者からのスリランカに関する相談を受け、情報を提供し、問題解決の方法を提示し、あるいは問題を解決する。

(イ) 実施時期 随時

(ウ) 従事者（無償ボランティアとして対応）今後の対応による。

(エ) 対象者及び相談件数 今後の対応による。

(オ) 支出予定 6,000 円（内訳：通信費 1,000 円、電話代 5,000 円）

(カ) 収入想定額 0 円

<イ> スリランカの公共トイレ・井戸の再建事業

(ア) 事業内容 ケーゴール県ガラピタマダ村の幼稚園でのトイレの建設

会費及び会員からの寄付金をもとに、ガラピタマダ村幼稚園に汚水処理付きのトイレを 1 基建設する。

(イ) 実施時期；5～12 月

(ウ) 従事者（大工を除き無償ボランティアとして対応）

正会員 1 名、スリランカ事務所代表、現地協力員 3 名、園長 1 名、教員 1 名、保護者 25 名、大工 1 名

(オ) 支出予定 120,000 円

（内訳）建設費 96,000 円、ガソリン代 20,000 円、電話代 4,000 円

(カ) 収入想定額 0 円

<ウ> スリランカ人を対象とした教育振興、人材育成及び雇用促進事業

(ア) 事業内容

① 人材育成・雇用促進事業：職業訓練を目的としたコンピュータ室の建設

「東南アジアに学校を作る会」（和歌山県宝珠寺）からの寄付金 33 万円を当て、ワルカーポラにある農村の寺では、オーストラリアからコンピュータを贈呈されたが、専用の建物がないため、その建物を建設する。

② 人材育成・雇用促進事業：水晶細工職人アーリさんによる水晶細工の製品開発を

支援する。各種の水晶ペンダントを試作し、販売を考えている人に提供する。

- ③ 人材育成・雇用促進事業：スバ・ランカ農園の維持管理を行い、と同時に、新たにプッタラムのカシューナッツの森を買い取り、カシューナッツの栽培を促進し、農業振興による雇用促進、さらには地球温暖化防止に寄与する。
- ④ 夏服の配送と供与
会員が提供してくれた夏服を送り、各地方自治体の主催する縫製教室、田舎の小商店に配布し、縫製の仕方の学習に役立て、商店における雇用を生み出す。と同時に、残部を福祉施設に、紅茶園の貧困家族、難民キャンプ等に贈呈する。

(イ) 実施時期

- ① コンピュータ室の建設：5～11月
- ② 水晶細工作製：5～11月
- ③ スバ・ランカ農園：5～11月
- ④ 夏服の配送と供与：1～7月

(ウ) 従事者(無償ボランティアとして対応)

- ① コンピュータ室の建設
正会員1名、スリランカ事務所代表、現地協力員2名、檀家50名
- ② 水晶細工
正会員1名、スリランカ事務所代表、水晶職人1名
- ③ スバ・ランカ農園
正会員1名、スリランカ事務所代表、現地協力者5名
- ④ 正会員1名、スリランカ事務所代表、現地協力者5名

(エ) 支出予定 1,317,000円

- ① コンピュータ室の建設 330,000円
(内訳) 建設費 300,000円 コンピュータ周辺機器 30,000円
- ② 水晶細工 17,000円
(内訳) 水晶原石代金及び作製費 10,000円、電話代 2,000円、ガソリン代 5,000円
- ③ スバ・ランカ農園 900,000円
(内訳) 交通費(ガソリン代) 30,000円 買い取り費用等 750,000円、整備費 100,000円、作物栽培費用 20,000円、
- ④ 夏服の配送・供与 50,000円
(内訳) スリランカへの輸送費：40,000円、スリランカ国内の輸送費：10,000円

(オ) 収入想定額 100,000円 (スリランカ国内におけるカシューナッツの販売)

<エ> 日本語・日本文化普及、教育・技術指導等に係るボランティア支援推進事業

(ア) 事業内容

- ① 日本語ボランティアの招へい
サバラガムワ大学の近隣にあるバラゴダ市のタミル中央学校とその校長Mr. シヤンムガナタンが設立した Japan and Sri Lanka Combined College に開設する日本語クラスで教える日本語ボランティア教師をインターネットで募集する。
- ② 国語・漢和辞典等の送付と贈呈

無償供与された辞典類をサバラガムワ大学日本研究専攻の学生に贈呈する。

(イ) 実施時期

- ① 日本語ボランティアの招へい；5～11月
- ② 国語・漢和辞典等の送付と贈呈；5月

(ウ) 従事者(無償ボランティアとして対応)

- ① 日本語のボランティアの招へい
正会員1名、サバラガムワ大学日本語センター主任、大学教員2名
- ② 国語・漢和辞典等の送付と贈呈
正会員1名、サバラガムワ大学日本語センター主任、センター職員1名

(エ) 支出予定 15,000円

- ① 日本語ボランティア招へい10,000円(内訳：電話代2,000円 交通費8,000円)
- ② 国語・漢和辞典等の送付と贈呈 スリランカへの輸送費5,000円

(オ) 収入想定額 0円

<オ> スリランカの物産の紹介と普及事業

(ア) 事業内容

- ① ブロークン・オレンジペコーの配布
スリランカの紅茶文化を紹介するとともに、時と場合によっては、会員からの要望により、試供品として、創業1841年のマックウッド社のブロークン・オレンジペコーを配布し、紅茶文化の普及、促進を図った。
- ② カシューナッツの配布
スリランカのカシューナッツが無農薬であることを紹介し、味がインド産とは異なることを知ってもらうために、時と場合によっては、会員からの要望により、試供品として、カシューナッツを配布した。

(イ) 実施時期 3月～12月

(ウ) 従事者(無償ボランティアとして対応) 正会員2名

(エ) 支出予定 126,000円

(内訳) 紅茶90箱代金16,500円、カシューナッツ7.25k代金60,500円、日本への郵送費16,000円、会員90名への郵送費21,600円、事務消耗品費4,000円
電話代2,000円

(オ) 収入想定額 0円

<カ> スリランカ・日本「架け橋」事業

(ア) 事業内容

- ① シンハラ語講座
伊藤佳子さんを講師に迎え、シンハラ文字の学習講座を開催する。4回、各1時間半を予定している。受講料2,000円(会員1,800円)
- ② スリランカ・ツアー
カシューナッツの植林ボランティアと世界遺産めぐりを目的として、スリランカのスタディーツアーを実施する。一人当たり旅行代金総費用 約180,000円

(イ) 実施時期

- ① 3月の土曜日2回、日曜日2回
- ② 8月27日～9月2日

(ウ) 従事者

- ① 正会員3名、講師1名
- ② 正会員3名

(エ) 支出予定 25,000円

(内訳) 施設利用費 2,700円 講師謝礼 20,000円 電話・通信費 2,300円

(オ) 収入想定額 25,000円 (講座受講料: 8名+会員5名)